

新見 嘉兵衛先生を偲んで

筒井 公子 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 神経ゲノム学 (旧解剖学第三講座))



新見 嘉兵衛先生

脳の比較解剖学で輝かしい業績を挙げられた新見嘉兵衛先生は、平成21年8月28日、89歳の天寿を全うして静かに永眠の床につかれました。脳の重要な領域、「視床」の研究で世界的に高く評価され、昭和53年にアメリカ解剖学会名誉会員に推挙され、昭和59年には第74回日本学士院賞受賞の栄誉に輝きました。

新見先生は兵庫県洲本市ご出身で、昭和18年、新潟医科大学ご卒業と同時に陸軍軍医として出征され、過酷な戦闘での医療活動を体験されました。陸軍軍医大尉として終戦を迎えられ、昭和21年9月に京都帝国大学助手として医学部解剖学教室平澤 興教授のもとで研究生活に入られました。ここでヒトの視床の細

胞構築の研究を開始され、昭和24年医学博士(京都大学)を取得された後、昭和26年から京都大学助教授として研究を続けられました。昭和29年に徳島大学医学部解剖学第二講座教授となられてからは視床を中心とした脳の比較解剖学、発生学の研究を飛躍的に発展させられ、先生のライフ・ワーク「視床に関する研究」の基礎を築き上げられました。昭和39年に文部省在外研究員として1年間アメリカ(ペンシルバニア大学)に滞在され、世界の学会の動向を把握されて、昭和40年に岡山大学医学部第三解剖学講座教授として岡山に赴任されました。

岡山大学の医学部第三解剖学講座は脳の研究で高名な上坂熊勝先生が創設された教室ですが、上坂先生ご退官後長く中断していたもので、新見先生はこの講座の復活を託され、新しい教室づくりを開始されました。昭和60年に定年でご退官されるまでの20年間、常に最新の研究方法をいち早く取り入れ、日本における脳の線維結合の研究を世界的なレベ

ルに押し上げられました。神経解剖学分野で最先端の研究成果を発表されるのみでなく、この期間に優れた教科書「神経解剖学」(朝倉書店、昭和51年)、「視床脳」(九州大学出版、昭和58年)、あるいは「医学英語文例事典」(朝倉書店、昭和58年)を出版されました。

見事な研究を展開されるだけでなく、岡山大学の医学部長、岡山県立短期大学長として、大学の発展にもご尽力されました。また、教育にも熱心で、すばらしい神経解剖学の講義は多くの医学部学生に深い感銘を与えました。永年の教育・研究・大学運営のご功績に対し、平成3年には勲二等瑞宝賞の叙勲の栄を受けられました。

新見先生は「教授在職32年間に70名以上の協同研究者の方々と一緒に研究して参りました。今日の私の研究上の成果はこのような人達の努力と献身に負うところがきわめて大きいと思います」と教授退官記念誌(昭和60年4月)に述べられています。新見先生の記憶はこれら共に研究に携わった多くの方々だけでなく、共に教育・大学運営に尽力された方々を介してこれからも鮮やかに伝えられることと思います。新見先生のご冥福を心からお祈り致します。

平成21年10月受理
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
電話：086-235-7096 FAX：086-235-7103
E-mail：otsukimi@md.okayama-u.ac.jp